

総社ゆかりの作家展Ⅲ



昭和地区ゆかりの3人、揃い踏み！

# 入江北宰 × 皆見鵬三 × 山本正

《豪溪秋色》制作年不詳、一部

《想曲》制作年不詳、一部

《僧侶》1975年、一部

2017年

2018年

12/16 (土) - 2/12 (月・祝)

9:00 ~ 17:00 **入場無料**

※月曜日は休館、ただし1月8日と2月12日は開館。

※入館は16:30まで

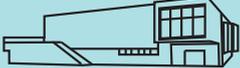
◆アクセス

岡山県総社市上林 1252 ☎0866-93-2219

備中国分寺の北側駐車場から東方向に徒歩で約10分

12月29日(金)から1月3日(水)までは年末年始のため休館します。

主催：総社市・総社市教育委員会・公益財団法人 総社市文化振興財団

  
**総社吉備路文化館**  
館名 文化勲章受章者 高木聖鶴氏 揮毫

総社吉備路文化館

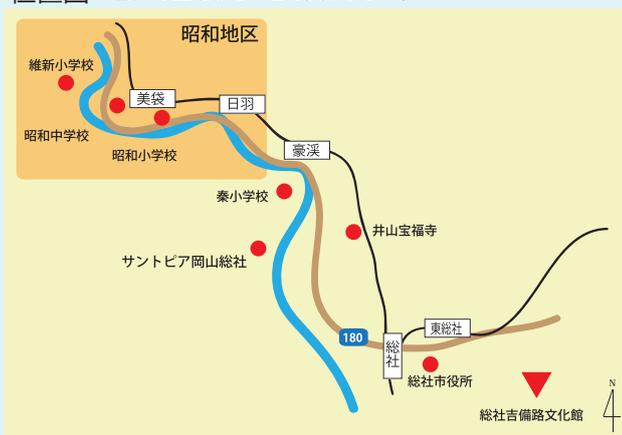
検索

# 昭和地区、ゆかりの作家を一堂に

総社吉備路文化館、総社ゆかりの作家展シリーズ第3弾は、昭和地区にゆかりのある入江北幸、皆見鵬三、山本正がテーマです。昭和地区は、総社市西北部に位置する自然豊かな地域。その地にゆかりある3名の作家たちは、多くの花鳥画を描いた入江、従軍画家を経て戦後は抽象表現の影響を受けた皆見、独立美術協会で活躍した山本と、それぞれがまったく異なる個性を持っています。

ご観覧の皆様には、この展示を通して地元の作家について改めて知っていただくとともに、20世紀の日本美術の多様なひろがりを感じていただければ幸いです。

位置図 ※縮尺は正確なものとは異なります。



## ◆<sup>いりえほくさい</sup>入江北幸 明治33年（1900）－ 平成7年（1995）

本名積三郎。日美村（現・総社市美袋）生まれ。

大阪で堂本印象、川端龍子に師事し、青龍社展入選17回。写生に基づく色彩豊かな花鳥画を得意とし、朝日新聞による昭和34年度選抜秀作展に推薦。昭和43年（1968）からは日府展理事を務めた。昭和62年（1987）には総社市図書館で入江北幸展が開催された。



入江北幸《鮎》制作年不詳

## ◆<sup>みなみほうぞう</sup>皆見鵬三 明治44年（1911）－ 昭和42年（1967）

水内村影（現・総社市影）生まれ。

旧制高梁中学校卒業後、上京し帝国美術学校で牧野虎雄に師事。多摩造形芸術専門学校（現・多摩美術大学）で助手を務めた。昭和14年（1939）からは従軍画家として華北を転々とし、終戦後に帰郷。大胆な構図と華麗な色彩で幻想的な世界を描いた。



皆見鵬三《里の夕月》制作年不詳

## ◆<sup>やまもと せい</sup>山本正 大正4年（1915）－ 昭和54年（1979）

水内村原（現総社市・原）生まれ。

小学校からは岡山市へ転居。小学3年のときに東京へ移り、中山巍に師事。主に独立美術協会で活動し、戦前、戦中にかけてはシュルレアリスムへの関心を高めた。戦後はヨーロッパへ留学し、昭和38年（1963）には独立美術協会展G賞を受賞。昭和42年には「日本の新しい絵画・彫刻」アメリカ巡回展出品作がロックフェラー3世のコレクションへ買い上げとなるなど、国際的に活躍。



山本正《謝肉祭》1974年

## 総社吉備路文化館

館名 文化勲章受章者 高木聖鶴氏 揮毫

### ◆アクセス

- ◎備中国分寺北側の駐車場から、徒歩で約10分
- ◎備中国分寺北側の駐車場までは、  
JR伯備線、桃太郎線総社駅から車で約15分  
岡山自動車道、岡山総社ICから車で約15分  
山陽自動車道、倉敷ICから車で約15分

### ◆問い合わせ

電話・FAX 0866-92-3491

